

## 令和元年度第3回朝日町総合教育会議 会議録

令和2年2月14日（金曜日）

午前10時45分から午前12時10分

創遊館会議室

出席者 朝日町長 鈴木 浩幸  
朝日町教育委員会  
教育長 小林 道和  
委員 五十嵐義一  
委員 井上 幸弘  
委員 村山 千鶴  
委員 橋間 博美

職務のため出席した者の職氏名

教育文化課長 阿部 正文  
主幹 田中 靖士  
主査兼生涯学習統括係長 伊藤 雅樹（書記）  
学校教育係長 安藤 正人  
生涯学習係長 本間 真紀

### 1. 開 会

課長の進行及び開会宣言

### 2. あいさつ

鈴木 浩幸 朝日町長

小林 道和 教育長

### 3. 協議事項

教育文化課長より会議の招集者である町長を議長とすることを確認し、了承を得る。

**議長（鈴木町長）** (1)令和元年度の朝日町の教育の推進（総括）について説明を求めた。

**課長及び主幹** 今年で2年目を迎えた第2次朝日町教育振興計画の目標指標に沿って、今年度の実績値等から推進状況について説明した。

**議長（鈴木町長）** (1)の協議内容について質疑、意見の有無を確認した。

**五十嵐委員** 目標達成に向け今後も継続して取り組みを続ける必要がある。

**村山委員** 読書の推進については、ちょっとした工夫で図書室の活用も増えてくると思う。

- 議長（鈴木町長）** 読書の推進は難しいところもあると思うが、町としても読書活動推進員を配置するなどの対応をしている。現状についてどのようなものか。
- 主幹** 読書量については、全国的な統計でみると30年前と比べ3分の1程度に落ち込んでおり、読書以外にも楽しいことが多くあるためと思われる。読書活動推進員の充実した配置により図書室環境が整備されてきている。古い本のリニューアルや選りすぐりの本を蔵書することにより、さらに効果をあげていきたい。
- 井上委員** アンケート調査による数値については、児童生徒のその時々々の状態や感覚の違いから、意図した設問内容における実態と齟齬が生じることがあるため、こだわり過ぎることはなく、地域学習などにおいて、学校では十分な取り組みが行われている。
- 主幹** 地域学習におけるスクールバスの利用については上限なく対応しており、他市町にはない手厚い支援を受けているが、児童においてはそれが当たり前の感覚になっているところもある。
- 橋間委員** コミュニティ・スクールがスタートして2年目となるが、先生方の実感や実態も把握する必要がある。地域素材の活用について、誰に協力を依頼するのか、どのように活かしていくのかなど、整理されているのか。
- 主幹** 地域コーディネーターの役割がますます重要となっている。体制の強化を図っていきたい。
- 議長（鈴木町長）** 学校運営や教育活動への地域の参画者等に係る人材バンクのようなものは作られているのか。
- 主幹** 各学校単位では作られていると思われるが、そのデータの確認や更新作業をしていかなければならないと感じている。
- 教育長** コミュニティ・スクール2年目となり地域学習等が進んできたが、コーディネーター役や先生方へさらに浸透させることが課題である。また、保小中一貫教育については、教師サイドの意識は高まってきているが、児童生徒の意識を高めることが課題となっている。
- 議長（鈴木町長）** 各委員のご指摘を踏まえ、来年度以降のコミュニティ・スクール等々での対応や推進をお願いしたい。
- 議長（鈴木町長）** (2)これからの朝日町の教育の推進（展望）について、説明を求めた。
- 主幹及び学校教育係長** GIGA スクール構想について、整備事業の内容とその導入に伴う教育現場の変化について資料に基づき説明
- 議長（鈴木町長）** (2)の協議内容について質疑、意見の有無を確認した。
- 五十嵐委員** 指導する側の先生方は対応できるのか。

- 主幹 教師の研修も重要になってくるとされる。
- 議長（鈴木町長） 我々の時代は紙に書いて覚える勉強法だった。ICT も良いが、これらの技術は日進月歩で大きく変化しており不安もある。
- 主幹 紙ベースのものが全てなくなることはないと思われるが、整備後に陳腐化してしまう恐れもあるかもしれない。
- 議長（鈴木町長） その他の質疑、意見の有無を確認し、質疑及び意見並びにその他協議事項が無い旨を確認した。

以上、協議し、午前 12 時 10 分に第 3 回朝日町総合教育会議の会議を閉じた。

閉 会

町 長

教 育 長

調 製 職 員 伊 藤 雅 樹